

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	大腸癌ロボット手術時の胆嚢摘出術の安全性と適切なアプローチの検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 外科学講座 (消化器外科) (職名) 講師 (氏名) 松村 卓樹
研究の対象となる方	2017年4月から2028年3月にかけて当院で大腸癌手術と同時に胆嚢摘出を腹腔鏡もしくはロボット手術でおこなった患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2029年03月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 胆嚢摘出術のロボット支援下手術は手術成績を示した報告は少ないです。大腸癌と同時に胆嚢を摘出する場合の手術成績を腹腔鏡手術とロボット手術で比較することで、ロボット手術による胆嚢摘出術の安全性と適切なアプローチを検討することを目的としています。 〔利用方法〕 本研究では、患者さんの診療情報(年齢、性別、手術内容、手術時間、出血量、合併症の有無など)を電子カルテや手術記録から抽出し、個人が特定できない状態にした上で集計・解析します。集計結果は学会発表や論文投稿などで公表する可能性があります。いずれの場合も個人が特定される情報は一切含まれません。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、手術内容、手術時間、出血量、合併症の有無などを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年6月30

は提供を希望しない 場合	日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てく ださい。
外国への試料・情報 の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学 外科学講座（消化器外科） 担当者：(職名)講師 (氏名)松村 卓樹 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)